

Active Serial Tool 2.0

Guide

Active Open Communications K.K

目次

目次	2
著作権について	3
ソフトウェア使用許諾契約書	4
はじめに	5
稼働環境	5
パッケージ内容	5
特徴	6
使用中のご注意	7
インストール方法	8
アンインストール方法	8
ユーザ登録	9
使用方法	10
設定ダイアログ	14
スクリプティングインターフェース	21
Q&A	27
サポート窓口	28
リリースノート	28

最新情報やライセンスキー購入方法は <http://www.activeopen.co.jp> をご覧下さい。

Active Serial Tool 2.0 Guide 2004 年 5 月 8 日

著作権について

このマニュアル及びマニュアルで解説するソフトウェアの著作権は、株式会社アクティヴオープンコミュニケーションズが全て保有しています。

著作権法により、ソフトウェア使用許諾契約書に記述された場合を除き、当社の書面もしくは電子メールによる許可無しに、いかなる形式（電子的・磁氣的・写真・録音・その他）にせよ、このマニュアル及びソフトウェアの全部または一部を複製・蓄積・送信することを禁じます。

複製が許可されている場合、オリジナルに添付されている所有権と著作権と同じ文書を複製物に添付しなければなりません。他の全ての登録商標は、それぞれの所有者の所有物です。

Active Serial Tool は Symantec 社の Symantec C++8.0.4/THINK-C 8.0 Translator で開発されています。

Copyright (c) 1995-2004 Active Open Communications K.K. All rights reserved.

ソフトウェア使用許諾契約書

定義

本契約において次の用語は次の定義を有するものとします。

- ・ 「弊社」とは株式会社アクティヴオープンコミュニケーションズをいいます。
- ・ 「使用者」とは本パッケージを取得し使用する個人又は事業体をいいます。
- ・ 「パッケージ」とは、ソフトウェア、マニュアルおよびその他本契約に添付される品目をいいます。

許可される使用

弊社は下記に定める条項に従って、本パッケージのソフトウェアを使用する、譲渡不能の非独占的使用権を使用者に許可します。

- ・ 使用者は、一度に一台のコンピュータで本パッケージのソフトウェアを使用することができます。
- ・ バックアップ用として、ソフトウェアの複写を一部作成することができます。この複製物は自動的に弊社の所有権に帰属し、本契約に従うものとします。

禁止される行為

使用者が次の事項をなすことは禁止されています。

- ・ 使用者が一台のコンピュータで個人的に使用する場合を除き、ソフトウェアを改変し、またはそれを他のプログラムと併合すること。ソフトウェアの改変、併合された部分は本契約に従うものとします。
- ・ 弊社の書面による同意なしに、ソフトウェアに関する二次的開発物を翻訳、または作成すること。
- ・ ソフトウェアの著作権、特許権その他所有権の表示を取り外し、または判読不明にしたり変更したりすること。
- ・ ソフトウェアのリバース・エンジニアリング、ディスアSEMBル、デコンパイル等をなし、ソフトウェアのソース・コードを解明しようとする。
- ・ ソフトウェアの再使用許諾、販売、貸し出し（賃貸を含む）をすること。もし、使用者が本契約に違反した場合には、自動的に使用権許諾は無効となり、使用者は本パッケージに含まれるソフトウェア、マニュアルその他を弊社に返還するか破棄しなければなりません。
- ・ 使用者がライセンスキーをインターネット等に公開すること。

限定保証

弊社は、弊社が納得した時点において、ソフトウェアが最新のものであり、弊社の設定した仕様に一致していることを保証します。弊社は、ソフトウェアにバグ、エラー、および脱落がないことを保証しません。もし、ソフトウェアが上記の保証に一致しなかった場合には、弊社はディスク交換やアップデートを含む合理的な努力を尽くします。弊社は、本パッケージの使用に伴う、直接、間接の損失に関して何らの責任を負いません。コンピュータ・プログラムまたはデータの復旧、回復に要する費用を含めて、弊社の製品に記憶され使用されたコンピュータ・プログラムにつき、一切の責任を負いません。

APPLE COMPUTER, INC. ("APPLE") MAKES NO WARRANTIES, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING WITHOUT LIMITATION THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, REGARDING THE APPLE SOFTWARE. APPLE DOES NOT WARRANT, GUARANTEE OR MAKE ANY REPRESENTATIONS REGARDING THE USE OR THE RESULT OF THE USE OF THE APPLE SOFTWARE IN TERMS OF ITS CORRECTNESS, ACCURACY, RELIABILITY, CURRENTNESS OR OTHERWISE. THE ENTIRE RISK AS TO THE RESULTS AND PERFORMANCE OF THE APPLE SOFTWARE IS ASSUMED BY YOU. THE EXCLUSION OF IMPLIED WARRANTIES IS NOT PERMITTED BY SOME STATES. THE ABOVE LIMITATIONS MAY NOT APPLY TO YOU.

IN NO EVENT WILL APPLE, ITS DIRECTORS, OFFICERS, EMPLOYEES OR AGENTS BE LIABLE TO YOU FOR ANY CONSEQUENTIAL, INCIDENTAL OR INDIRECT DAMAGES (INCLUDING DAMAGES FOR LOSS OF BUSINESS PROFITS, BUSINESS INTERRUPTION, LOSS OF BUSINESS INFORMATION, AND THE LIKE) ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE APPLE SOFTWARE EVEN IF APPLE HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES. BECAUSE SOME STATES DO NOT ALLOW THE EXCLUSION OR LIMITATION OF LIABILITY FOR CONSEQUENTIAL OR INCIDENTAL DAMAGES, THE ABOVE LIMITATIONS MAY NOT APPLY TO YOU.

はじめに

この度は Active Serial Tool をお買い上げ（もしくはデモ版を試用して）いただき誠にありがとうございます。Active Serial Tool は、Macintosh Communication Toolbox (C.T.B.) 用のシリアルコネクション（シリアル通信）ツールです。

Active Serial Tool OEM 版（カスタマイズ、サイトライセンス、貴社の商品へのバンドル等）も承っております。詳細は activeopen@mac.com 山田宛に電子メールでお問い合わせ下さい。

稼働環境

Active Serial Tool を使用するためには、以下の環境が必要です。

- ・ Apple Macintosh Plus 以降の各機種（Power Macintosh を含む）
- ・ System 6.0.7 / Mac OS X 10 以降のシステムソフトウェア（Communication Toolbox ソフトウェア）
- ・ Communication Toolbox コネクションツールをサポートしている通信ソフトウェア

パッケージ内容

ファイル名	Active Pack.img	(Disk Copy イメージ)
パッケージ内容	Active Serial Tool	(プログラム)
	Active Serial Tool.pdf	(マニュアル)

特徴

- ・ 日本初のサードパーティによるシリアルコミュニケーションツール

Active Serial Tool は Apple Computer 社がリリースしている Serial Tool のスーパーセットであり、以下のような拡張機能が内蔵されています。

- ・ 115K / 230K非同期高速通信をサポート

内蔵シリアルポート付きの 660AV / 840AV / Power Macintosh を使用している方は、V.90 モデムや IBM PC 互換機との通信で威力を発揮する 115K / 230K の高速通信が使用できます。

- ・ 入力受信バッファサイズ指定が可能

高速通信で有用な、入力受信バッファサイズを指定できます。

- ・ バイリンガルスクリプティングインターフェース

通信ソフトウェアからActive Serial Toolに対して設定変更するための英語・日本語スクリプティングインターフェースをサポートしています。

- ・ バイリンガルダイアログをサポート

日本語 Mac OSで日本語ダイアログ・英語ダイアログを指定可能です。英語システムで起動した場合は自動的に英語ダイアログで表示されます。

使用中のご注意

- ・ 大切なデータは必ず保存してください。お客様が操作を誤ったり本製品に異常が発生した場合、データが消失することがあります。
- ・ 本製品の不具合による損害、文書やデータの消失による損害、その他本製品の使用により生じた損害については当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。
- ・ 本書の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- ・ このソフトウェアは著作権法及び国際条約により保護されています。

インストール方法

アーカイブファイルは、「ディスクユーティリティ」の圧縮されたディスクイメージフォーマットで配付されています。ファイルをダブルクリックしてイメージファイルをマウントして下さい。

- ・ System 6.0.7 / 漢字Talk 6.0.7の場合

システムフォルダ内の Communications Folderに Active Serial Toolをコピーします。

- ・ System 7 / 漢字Talk 7 / Mac OS 8 / Mac OS 9の場合

Active Serial Toolをシステムフォルダにドラッグしてインストールします。Active Serial Toolはシステムフォルダの機能拡張フォルダに収納されます。

- ・ Mac OS X の場合

Classic で使用しているシステムフォルダにドラッグしてインストールします。Active Serial Tool はシステムフォルダの機能拡張フォルダに収納されます。

アンインストール方法

システムフォルダの機能拡張フォルダ内の Active Serial Tool と初期設定フォルダ内の Active Serial Tool Prefs を削除して下さい。

ユーザ登録

Active Serial Tool を初めて使用した時に、ユーザ登録ダイアログが表示されます。電子メールアドレスとライセンスキーを入力後、「OK」ボタンをクリックして下さい。



The image shows a dialog box titled "Active Serial Tool ユーザ登録". It contains two input fields: "電子メールアドレス" (Email Address) and "ライセンスキー" (License Key). Below the input fields are three buttons: "デモ" (Demo), "キャンセル" (Cancel), and "OK".

電子メールアドレス

電子メールアドレスを半角で入力します。

ライセンスキー

ライセンスキーを半角で入力します。ライセンスキーは大切に保管して下さい。

デモ

デモモードで起動します。デモの制限事項は以下の通りです。

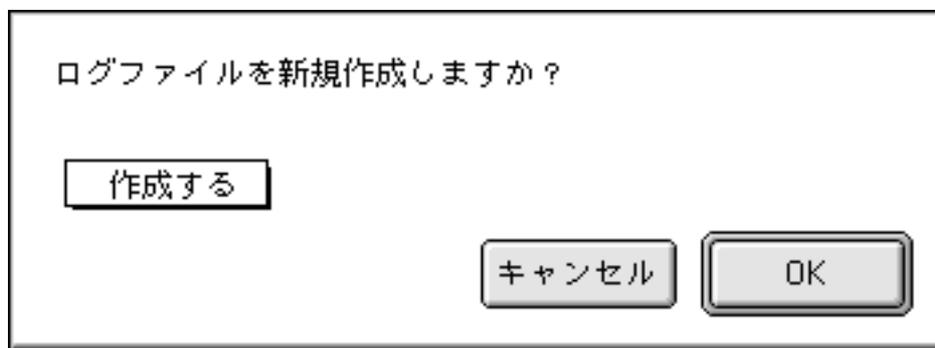
- ・ **制限時間は 5 分間です**

使用方法

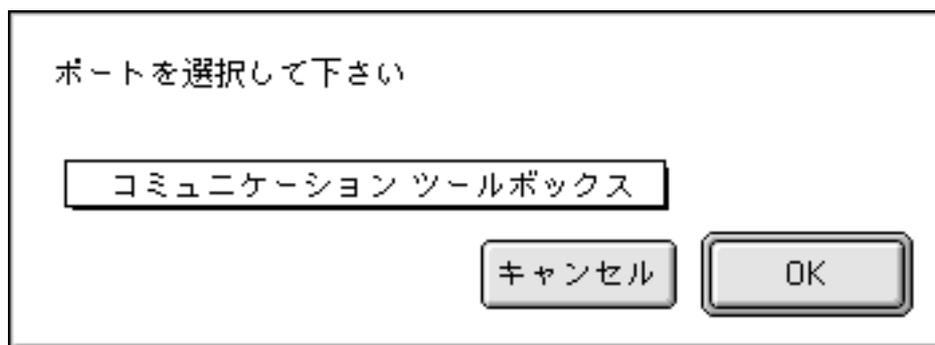
ActiveTalkを使用した場合の Active Serial Toolの設定例をご紹介します。
モデム経由もしくはダイレクトシリアル接続でUnix端末に接続してみましょう。

まず、ActiveTalk の設定メニューの「アシスタント...」を選択して下さい。

ログファイルを新規作成するか、どうか尋ねてきます。
新規作成する場合はファイル名を指定して下さい。



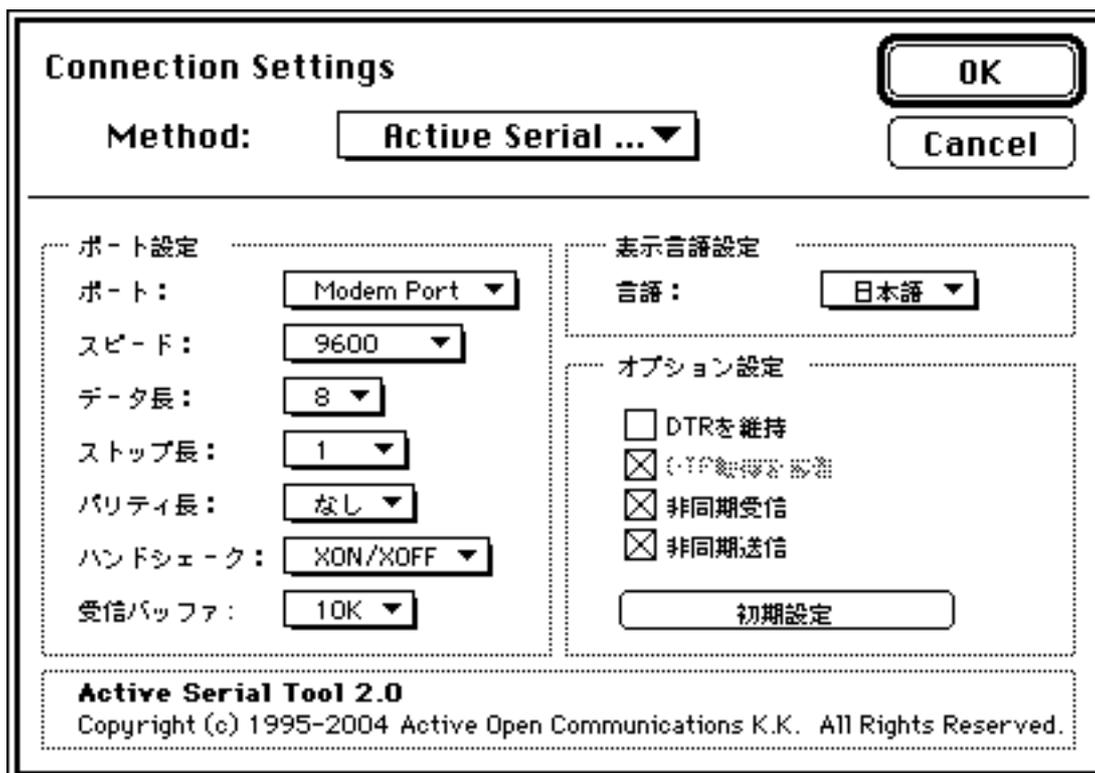
次にポートを選択します。「コミュニケーションツールボックス」を選択して、「OK」をクリックして下さい。



コネクション設定ダイアログが表示されますので、「接続ツール」ポップアップメニューからActive Serial Toolを選択して下さい。

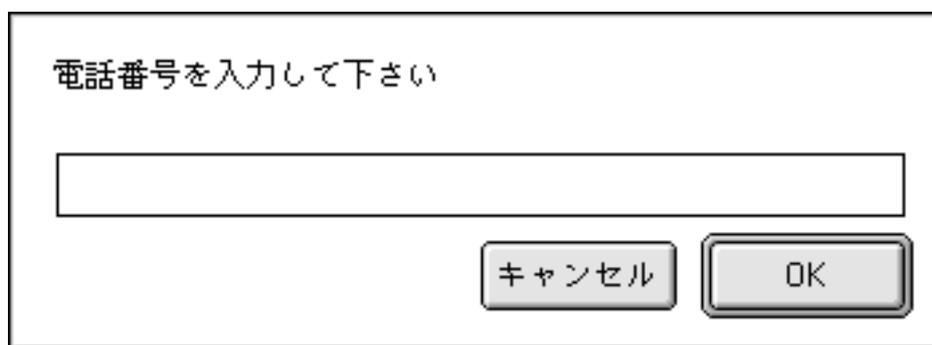
以下のダイアログが Active Serial Tool 設定ダイアログです。

マック-モデム間のスピードや各設定を変更して「OK」をクリックして下さい。

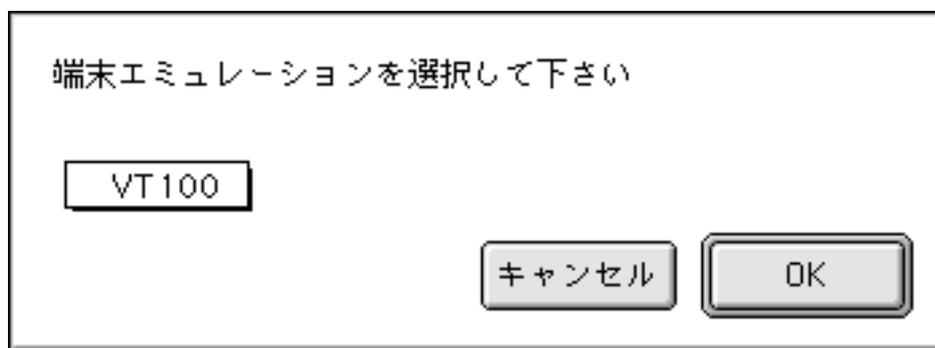


電話番号を入力して「OK」をクリックして下さい。

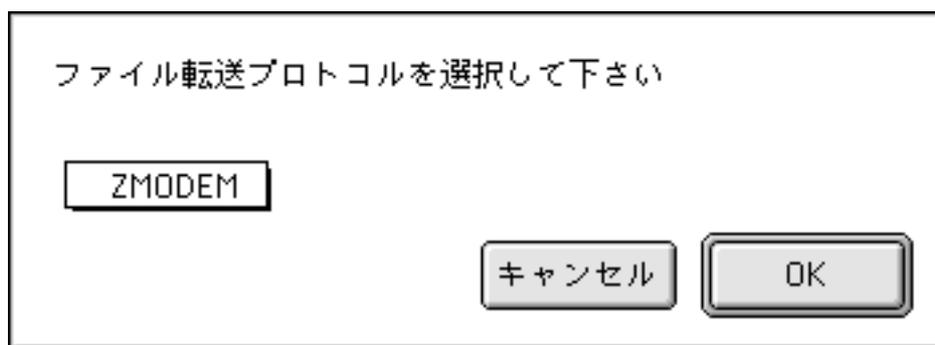
ダイレクト接続の場合は何も入力せずに「OK」をクリックして下さい。



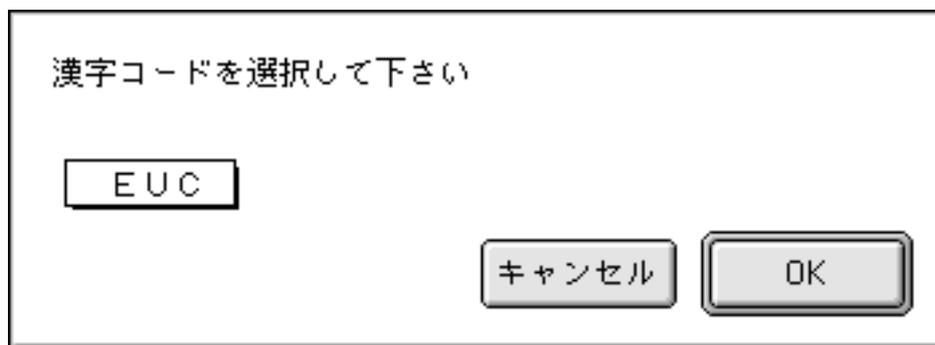
端末エミュレーションを選択します。「TTY (エミュレーションなし)」「VT52」「VT100」の3種類から選択して下さい。



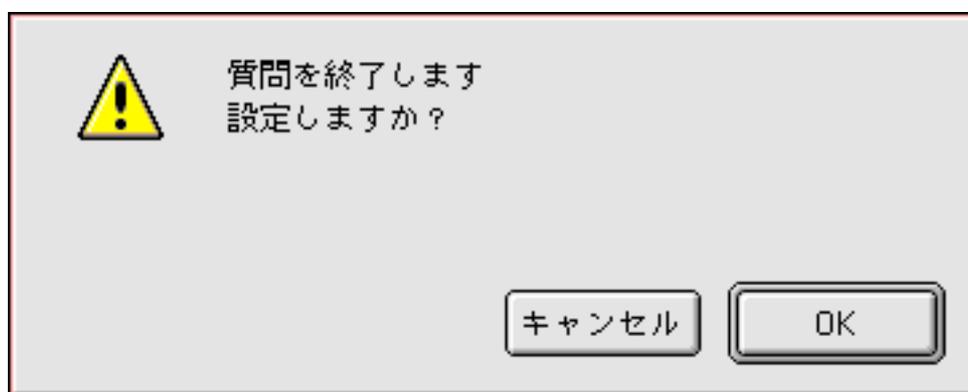
ファイル転送プロトコルを選択します。「XMODEM」「YMODEM」「ZMODEM」「Kermit」の4種類から選択して下さい。



漢字コードを選択します。「シフトJIS」「EUC」「新JIS」「旧JIS」の4種類から選択して下さい。



全ての質問は終了しました。設定する場合は、「OK」をクリックして下さい。



これで設定は完了です。初めて Active Serial Toolを使用する時に、ユーザ登録ダイアログが表示されますのでユーザ登録して下さい。

「オプション」メニューの「ログイン…」を選択すればログインスクリプトを実行できます。

設定ダイアログ

Connection Settings

Method: **Active Serial ...**

ポート設定

ポート: Modem Port ▼

スピード: 9600 ▼

データ長: 8 ▼

ストップ長: 1 ▼

パリティ長: なし ▼

ハンドシェーク: XON/XOFF ▼

受信バッファ: 10K ▼

表示言語設定

言語: 日本語 ▼

オプション設定

DTRを維持

CIP制御を有効

非同期受信

非同期送信

初期設定

Active Serial Tool 2.0
Copyright (c) 1995-2004 Active Open Communications K.K. All Rights Reserved.

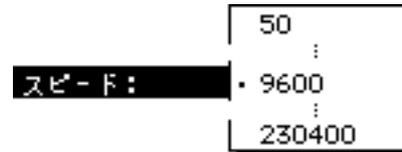
ポート設定

ポート

ポート: Modem Port
Printer Port
TimeLiner

Active Serial Tool の使用するポートを設定します。Communication Resource Manager 互換のシリアルドライバ名が表示されます。通常は「モデムポート」(「Modem Port」)を使用します。

スピード



通信スピードを指定します。指定可能なスピードは

「50 / 75 / 110 / 135 / 150 / 200 / 300 / 450 / 600 / 1200 / 1800 / 2000 / 2400 / 3600 / 4800 / 7200 / 9600 / 14400 / 19200 / 28800 / 38400 / 57600 / 115200 / 230400」

です。

モデムによっては 14400 / 28800 は使用できない機種があります。

115200 及び 230400 は DMA シリアルドライバの使用できる内蔵ポート付きの 660AV / 840AV / Power Macintosh のみで、使用できます。

データ長



データビット長を指定します。指定可能な値は「5 / 6 / 7 / 8」で、通常は「8」を使用します。

ストップ長



ストップビット長を指定します。指定可能な値は「1 / 1.5 / 2」で、通常は「1」を使用します。

パリティ長



パリティビット長を指定します。指定可能なパリティは「なし / 奇数 / 偶数」で、通常は「なし」を使用します。

○ ハンドシェーク



ハンドシェーク（フロー制御）を指定します。指定可能なパリティは「なし / XON/XOFF / DTR と CTS / DTR のみ / CTS のみ」で、通常は「XON/XOFF」を使用します。

通信スピードが 115200 / 230400 の場合は 「DTR と CTS」を指定し、ハードウェアハンドシェーク用のシリアルケーブルを使用して下さい。

○ 受信バッファ



入力受信バッファサイズを指定します。指定可能な値は

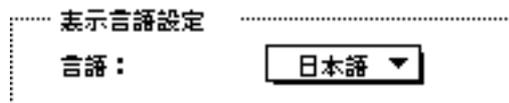
「32 / 64 / 128 / 256 / 512 / 1K / 2K / 4K / 8K / 10K / 12K / 16K / 20K / 24K / 28K / 32K」

で、通常は「10K」を使用します。

通信スピードが 115200 / 230400 の場合は最大の「32K」を使用します。
1K 未満はパフォーマンステスト用ですので、通常は使用しないで下さい。

表示言語設定

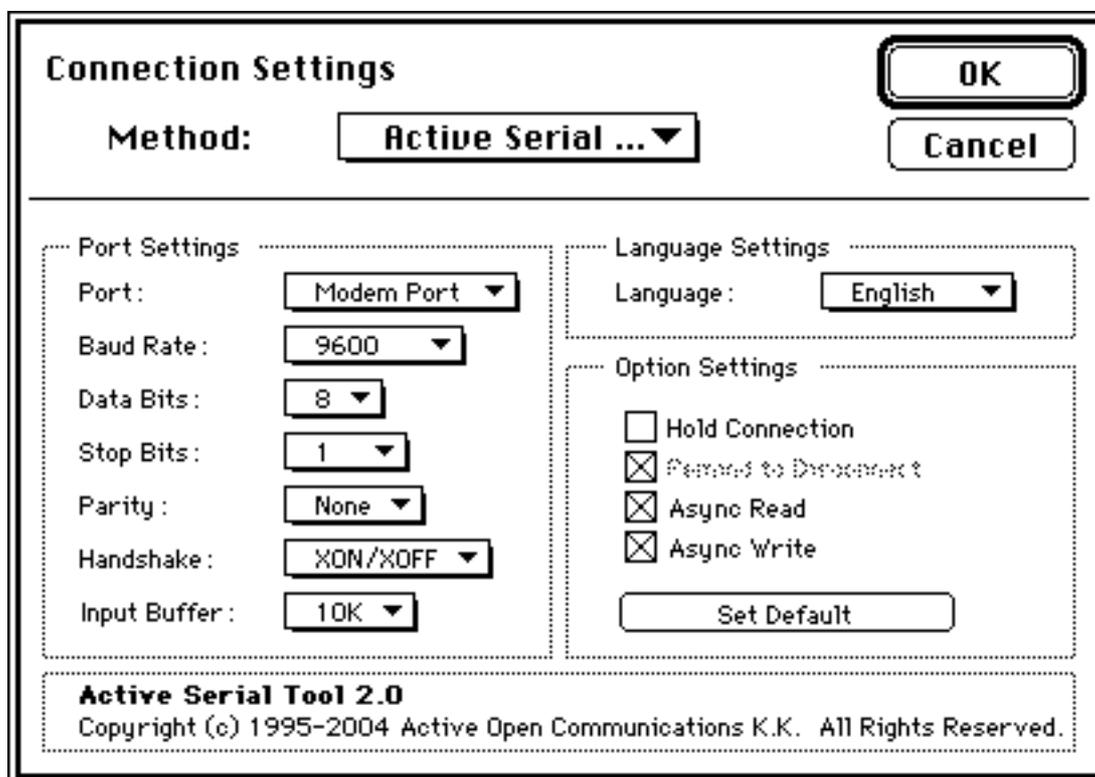
言語



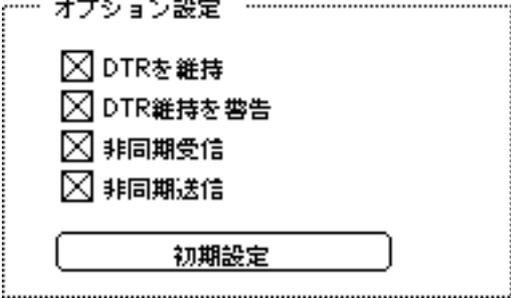
ダイアログの表示言語を指定します。指定可能な言語は「英語」と「日本語」です。

日本語 Mac OS を使用している場合は「日本語」が、その他のシステムでは「英語」がデフォルトです。英語に切り替えたい場合は、ポップアップメニューをクリックして、「英語」を選択して下さい。

ダイアログは、仕様上の制限により ActiveTalk 等のように動的に英語には変更できませんので、一度「OK」を押して終了してから、再度ダイアログを表示させて下さい。英語に切り替えると、以下のようなダイアログになります。



オプション設定



オプション設定

- DTRを維持
- DTR維持を警告
- 非同期受信
- 非同期送信

初期設定

DTR を維持

DTR (Data Terminal Ready) 信号は、モデム（または DCE）に対して端末側の準備が整っていることを知らせる信号です。通常モデムは、DTR 信号が落ちた場合に回線を強制切断します。（通常アプリケーション終了時に DTR は落ちます）

DTR 信号を落とすことなくアプリケーションを終了させる場合に、このオプションを使用します。このオプションを使用すれば、現在使用している通信ソフトウェアから違う通信ソフトウェアに切り替えても、回線が切断されることはありません。

しかしアプリケーション終了時に回線を切断するのを忘れてしまい、課金され続ける可能性がありますので十分注意して下さい。

DTR を維持したい場合には、このチェックアイテムをオンにします。

DTR 維持を警告

Active Serial Tool 終了時に上記の「DTR を維持」が指定されていた場合、警告ダイアログを表示します。回線を切断する場合は「OK」を、切断しない場合は「キャンセル」を選択して下さい。

非同期受信

非同期送信

マッキントッシュツールボックスには同期システムコール（I/Oオペレーションが終了するまで待つ）と非同期システムコール（I/Oオペレーションの終了を待たない）があります。

「非同期受信」及び「非同期送信」をオフにすることにより、強制的に同期システムコールとして扱うことができます。シリアルドライバの非同期システムコールにバグがある場合等に、このチェックアイテムをオンにします。

初期設定

「初期設定」ボタンをクリックすると、以下のように設定されます。

「ポート デフォルトポート / スピード 9600 / データ長 8 / ストップ長 1 / パリティ なし / ハンドシェイク XON/XOFF / 受信バッファ 10K / DTR を維持 オフ / DTR 維持を警告 オン / 非同期受信 オン / 非同期送信 オン」

スクリプティングインターフェース

Communication Toolbox のスクリプティングをサポートしている通信ソフトウェアを使用して、Active Serial Tool に対してスクリプトで設定を変更できます。

スクリプト言語は、英語と日本語が使用できます。

英語スクリプト

Port

フォーマット : Port "Default Port" / "Modem Port" / "Printer Port" ...
サンプル : Port "Modem Port"

Baud

フォーマット : Baud 50 / 75 / 110 / 135 / 150 / 200 / 300 / 450 /
600 / 1200 / 1800 / 2000 / 2400 / 3600 / 4800 /
7200 / 9600 / 14400 / 19200 / 28800 / 38400 /
57600 / 115200 / 230400
サンプル : Baud 9600

DataBits

フォーマット : DataBits 5 / 6 / 7 / 8
サンプル : DataBits 8

StopBits

フォーマット : StopBits 1 / 1.5 / 2
サンプル : StopBits 1

Parity

フォーマット : Parity None / Odd / Even

サンプル : Parity None

HandShake

フォーマット : HandShake None / XON/XOFF / DTR&CTS /
DTROnly / CTSOnly

サンプル : HandShake XON/XOFF

InputBufferSize

フォーマット : InputBufferSize 32 / 64 / 128 / 256 / 512 / 1K / 2K /
4K / 8K / 10K / 12K / 16K / 20K / 24K / 28K / 32K

サンプル : InputBufferSize 10K

Language

フォーマット : Language English / Japanese

サンプル : Language English

HoldConnection

フォーマット : HoldConnection TRUE / FALSE

サンプル : HoldConnection FALSE

RemindDisconnect

フォーマット : RemindDisconnect TRUE / FALSE

サンプル : RemindDisconnect TRUE

ASyncRead

フォーマット : ASyncRead TRUE / FALSE

サンプル : ASyncRead TRUE

ASyncWrite

フォーマット : ASyncWrite TRUE / FALSE

サンプル : ASyncWrite TRUE

日本語スクリプト

ポート

フォーマット： ポート "デフォルトポート" / "モデムポート" /
"プリンタポート" ...

サンプル： ポート "モデムポート"

ボーレート

フォーマット： ボーレート 50 / 75 / 110 / 135 / 150 / 200 / 300 /
450 / 600 / 1200 / 1800 / 2000 / 2400 / 3600 /
4800 / 7200 / 9600 / 14400 / 19200 / 28800 /
38400 / 57600 / 115200 / 230400

サンプル： ボーレート 9600

データ長

フォーマット： データ長 5 / 6 / 7 / 8

サンプル： データ長 8

ストップ長

フォーマット： ストップ長 1 / 1.5 / 2

サンプル： ストップ長 1

パリティ

フォーマット： パリティ なし / 奇数 / 偶数

サンプル： パリティ なし

ハンドシェーク

フォーマット： ハンドシェーク なし / XON/XOFF / DTR と CTS /
DTR のみ / CTS のみ
サンプル： ハンドシェーク XON/XOFF

入カバッファサイズ

フォーマット： 入カバッファサイズ 32 / 64 / 128 / 256 / 512 / 1K /
2K / 4K / 8K / 10K / 12K / 16K / 20K / 24K / 28K / 32K
サンプル： 入カバッファサイズ 10K

言語

フォーマット： 言語 英語 / 日本語
サンプル： 言語 日本語

DTR 維持

フォーマット： DTR 維持 あり / なし

サンプル： DTR 維持 なし

DTR 維持警告

フォーマット： DTR 維持警告 あり / なし

サンプル： DTR 維持警告 あり

非同期受信

フォーマット： 非同期受信 あり / なし

サンプル： 非同期受信 あり

非同期送信

フォーマット： 非同期送信 あり / なし

サンプル： 非同期送信 あり

Q&A

Q : Active Serial Tool を使おうとしても強制的に終了してしまいます。

A : Active Serial Tool は、1 ライセンスで一つ使用できます。

Q : Active Serial Tool がサポートする通信ソフトは？

A : 日本語通信ソフトとして弊社の ActiveTalk を、英語通信ソフトとして Communicate Lite 1.5 / MacIntercomm 1.0 / MacTerminal 3.0 / MacIntercomm Lite 1.1.1 / MicroPhone Pro 2.1 / MacMultiCom 1.0 / PacerTerm 1.0.3 / TCP/Connect II 2.1 / MacCIM 2.4.3b をサポートしています。基本的に Communication Toolbox のコネクションツールをサポートしている通信ソフトであれば使用可能です。

Q : 通信速度 115K / 230K を指定できません。

A : 115K / 230K で通信するには DMA シリアルドライバを使用できる内蔵ポート付きの 660AV / 840AV / Power Macintosh が必要です。

A : Express Modem / GeoPort ドライバが、システムフォルダの拡張機能フォルダに入っていると、DMA シリアルドライバが使用できないことがありますので、これらの拡張機能を外して下さい。

Q : 通信速度 115K / 230K の通信時にエラーが頻発したり、ハングします。

A : 高速通信時にはハードウェアハンドシェイクをサポートしているシリアルケーブルが必要です。DATA SPEC 社のマック用シリアルケーブルはハードウェアハンドシェイクをサポートしています。通信速度 38.4K 以上ではハードウェアハンドシェイクを使用するように心掛けて下さい。

サポート窓口

インターネット窓口

最新情報やライセンスキー購入方法は <http://www.activeopen.co.jp> をご覧下さい。

セールスに関するご質問や、ユーザサポート、キーウェア版の CD-ROM 等への添付については、電子メールで山田宛に、もしくはお電話（03-5337-7665）でご相談下さい。

リリースノート

2.0 5/8/2004

ActiveWare 版 Active Serial Tool イニシャルリリース